



令和 6 年度  
(2024)

# 大学院 入学試験要項

医学研究科  
博士課程

《一般入学試験》

《外国人留学生入学試験》

福 岡 大 学

# 医学研究科 博士課程

## 人材養成及び教育研究上の目的

医学研究科は、豊かな人間性、協調性及び積極性を持ち、医学や看護学に関する高度な専門的知識を備え、地域社会をはじめ日本及び国際社会に貢献できる人材を養成することを教育の理念とする。

博士課程においては、医学研究者として自立するために必要な研究能力を培うとともに、医学・医療における特定の専門分野について深い研究を行い得る研究者を養成することを目的とする。養成にあたっては、医学・生命科学等の領域で研究者として必要な幅広い専門的知識と、研究に必要な実験のデザインなどの研究手法や研究遂行能力を修得させる一方、臨床研究者として優れた研究能力等を備えた臨床医の養成も行う。すなわち、主として患者を対象とする臨床研究の遂行能力を修得させるとともに、研究遂行上又は職業上必要な資格の取得や関連学会における認定資格の取得のために必要な教育も行う。

医学研究は、基礎から臨床、生命科学から社会医学まで広範囲に及ぶため、次の6専攻分野に分け、学生の志望に基づき、いずれかの専攻分野にて教育を行う。

人体生物系専攻においては、分子生物学領域における高度な専門的知識及び技術を有し、医学の発展に寄与する優秀な人材を養成することを教育の理念とする。本専攻の教育に重点を置くとともに、各専攻分野を有機的に関連づける能力、人体構造・機能の解明を目指す過程で分子生物学的・病理学的解析法を身に付け、幅広い応用分野に対応できる総合的な教育・研究者を養成することを目的とする。

生体制御系専攻においては、生体の維持・制御機構領域における高度な専門的知識及び技術を有し、医学の発展に寄与する優秀な人材を養成することを教育の理念とする。免疫学、再生・移植医学、再建医学、呼吸生理学の各分野において研究手法や科学的・論理的思考法を身に付け、新規治療の開発等に寄与できる教育・研究者を養成することを目的とする。

病態構造系専攻においては、疾病の原因を理解するための高度な専門的知識及び技術を有し、医学の発展に寄与する優秀な人材を養成することを教育の理念とする。臨床検体を中心に疾患の原因や成り立ち、病態を肉眼・組織から細胞・分子レベルまで構造解析という側面から研究し、新規の診断法や病態解明の手法の開発に寄与できる教育・研究者を養成することを目的とする。

病態機能系専攻においては、疾病の病態生理を理解するための高度な専門的知識及び技術を有し、医学の発展に寄与する優秀な人材を養成することを教育の理念とする。人体疾患の病態生理の理解やその解明のために必要な実験手技・手法を修得し、基礎系と臨床系が交流を持ち、相互のスキルを活かして治療に結びつける研究のできる教育・研究者を養成することを目的とする。

社会医学系専攻においては、疾病と環境や内因的な要因との関係を理解するために高度な専門的知識及び技術を有し、医学の発展に寄与する優秀な人材を養成することを教育の理念とする。疫学・公衆衛生学、予防医学、犯罪医学、精神医学、生命医療倫理学等の各分野において、社会医学的な実験手技・手法を修得し、人の発生から成長、老化、死に至る過程における人と疾病の関わりを研究できる教育・研究者を養成することを目的とする。

先端医療科学系専攻においては、生殖領域から成人病まで各専攻分野における高度な専門的知識及び技術を有し、医学の発展に寄与する優秀な人材を養成することを教育の理念とする。多岐にわたる臓器の生理的機能、臓器疾患の原因、病態、治療を理解し、生化学的手法、分子生物学的手法、生理学的手法・手法を中心に、個体レベルから分子レベルまで広範に手法を修得させ、橋渡しの研究や臨床応用をも視野に入れた研究のできる教育・研究者を養成することを目的とする。

# アドミッション・ポリシー

医学研究科博士課程では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

## 【求める学生像】

入学選考にあたって、医学的な専門知識の上に疑問点の抽出、解決に向けての柔軟で論理的な思考力と豊かな創造性を発揮して研究を遂行する能力を得たい人を受け入れる。

医科学はきわめて多様性に富む学問であるため、医学部以外出身者や社会人として医療に携わっているひとたちにも広く門戸を開き、新しい考え方で医学研究を遂行できる人材を受け入れる。また、障がい等のある志願者についても可能な限り受け入れる。

## 【入学者選抜の在り方】

医学研究は、内外の研究機関と共同・連携で実施されることが多く、その基本となる情報収集、情報交換のため、国際用語である英語の能力を見極める。

医学に対する興味、好奇心と目標とする研究を遂行するための能力、意欲、前向きな姿勢を見極める。

## 【人体生物系専攻】

医学研究科人体生物系専攻博士課程では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

### 【求める学生像】

入学選考にあたっては、意欲および多様性を有する次のような人材を求める。

- 1) 生体構造学、分子細胞生物学、細胞分子制御学における高度な知識と研究能力の取得を志す人
- 2) 生命医科学全般に関する十分な基礎知識を有する人
- 3) 国際的に通用するコミュニケーション・プレゼンテーション能力を有する人

### 【入学者選抜の在り方】

医学研究は、内外の研究機関と共同・連携で実施されることが多く、その基本となる情報収集、情報交換のため、国際用語である英語の能力を見極める。

医学に対する興味、好奇心と目標とする研究を遂行するための能力、意欲、前向きな姿勢を見極める。

## 【生体制御系専攻】

医学研究科生体制御系専攻博士課程では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

### 【求める学生像】

入学選考にあたっては、意欲および多様性を有する次のような人材を求める。

- 1) 生体防御学、再生・移植医学、呼吸病態生理学、再生再建外科学における高度な知識と研究能力の取得を志す人
- 2) 生命医学全般に関する十分な基礎知識を有する人
- 3) 国際的に通用する語学能力を有する人

### 【入学者選抜の在り方】

医学研究は、内外の研究機関と共同・連携で実施されることが多く、その基本となる情報収集、情報交換のため、国際用語である英語の能力を見極める。

医学に対する興味、好奇心と目標とする研究を遂行するための能力、意欲、前向きな姿勢を見極める。

## 【病態構造系専攻】

医学研究科病態構造系専攻博士課程では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

### 【求める学生像】

入学選考にあたっては、意欲および多様性を有する次のような人材を求める。

- 1) 人体の構造変化を基盤とする病態に関して高度な知識と研究能力の取得を志す人
- 2) 医学部以外の出身者であっても医療に携わる人
- 3) 日本内外の研究機関と共同研究、その基本となる情報収集、情報交換に必要な国際言語である英語の能力を有する人

### 【入学者選抜の在り方】

医学研究は、内外の研究機関と共同・連携で実施されることが多く、その基本となる情報収集、情報交換のため、国際用語である英語の能力を見極める。

医学に対する興味、好奇心と目標とする研究を遂行するための能力、意欲、前向きな姿勢を見極める。

### 【病態機能系専攻】

医学研究科病態機能系専攻博士課程では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

#### 【求める学生像】

入学選考にあたっては、意欲および多様性を有する次のような人材を求める。

- 1) 病態機能に関する疑問点を抽出し、探究する意欲を有する人
- 2) 医学的な専門知識および研究活動に必要な語学力を有する人
- 3) 幅広く医療に関連する業務や研究に関与している人
- 4) 病態機能学に興味を強く有する人

#### 【入学者選抜の在り方】

医学研究は、内外の研究機関と共同・連携で実施されることが多く、その基本となる情報収集、情報交換のため、国際用語である英語の能力を見極める。

医学に対する興味、好奇心と目標とする研究を遂行するための能力、意欲、前向きの姿勢を見極める。

### 【社会医学系専攻】

医学研究科社会医学系専攻博士課程では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

#### 【求める学生像】

入学選考にあたっては、意欲および多様性を有する人材を求める。

- 1) 医療や医療関連領域の社会的、心理的、生物学的な知識を探究したい人
- 2) 医学部出身のみならず、広く医療に携わる人
- 3) 多面的な考え方で医学研究を遂行できる人
- 4) 情報収集、情報交換に必要な国際言語である英語の能力を有する人
- 5) 論理的な推論の能力を有する人

#### 【入学者選抜の在り方】

医学研究は、内外の研究機関と共同・連携で実施されることが多く、その基本となる情報収集、情報交換のため、国際用語である英語の能力を見極める。

医学に対する興味、好奇心と目標とする研究を遂行するための能力、意欲、前向きの姿勢を見極める。

### 【先端医療科学系専攻】

医学研究科先端医療科学系専攻博士課程では、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、次に掲げる意欲と能力等を備えた学生・社会人・留学生を受け入れる。

#### 【求める学生像】

本専攻は、医学・医療分野の専門的知識を備え生命科学との融合領域で自立した創造的研究が遂行できる研究者や、優れた研究能力と高度の専門的知識を備えた臨床医の育成を目指している。

そのため、入学選考にあたっては、意欲および多様性を有する次のような人材を求める。

- 1) 先端的な生命科学・医学的知識及び技術を学びたい人
- 2) バイオ・医学・医療等の分野において活躍したい人
- 3) 高度な専門知識と技能を持った臨床医を志す人
- 4) 企業・病院・公的機関等に在籍しながら研究を行い、博士号取得を志す人

#### 【入学者選抜の在り方】

医学研究は、内外の研究機関と共同・連携で実施されることが多く、その基本となる情報収集、情報交換のため、国際用語である英語の能力を見極める。

医学に対する興味、好奇心と目標とする研究を遂行するための能力、意欲、前向きの姿勢を見極める。

# 教育目標

## (1) 人体生物系専攻

人体生物系専攻では、次のような人材を育成することを教育目標とします。

1. 生命科学一般に関する基礎的な知識を有する者
2. 専門分野に必要な知識と実験技術を有する者
3. 専門分野において研究テーマを設定しそれを解決する能力を有する者
4. 異なる専門分野を橋渡しできる能力を有する者
5. 国際的に通用するコミュニケーション・プレゼンテーション能力を有する者

## (2) 生体制御系専攻

生体制御系専攻では、次のような人材を育成することを教育目標とします。

1. 専門分野における基礎的知識を有する者
2. 専門分野における研究手法や科学的・論理的思考法を有する者
3. 国際的に通用するコミュニケーション・プレゼンテーション能力を有する者
4. 研究テーマを立案し、完成できるような能力を有する者

## (3) 病態構造系専攻

病態構造系専攻では、次のような人材を育成することを教育目標とします。

1. 人体の病因と病態を理解するための高度な専門的知識及び技術を有する者
2. 最新の科学的知識を理解するための語学力を有する者
3. 肉眼・組織から細胞・分子レベルまで人体の病態に関する専門的知識を有する者
4. 病態を構造という側面から研究・解析するための知識と技術を有する者
5. 病態構造に関する新規の知識・診断法・病態解明手技の開発に寄与できる能力を有する者

## (4) 病態機能系専攻

病態機能系専攻では、次のような人材を育成することを教育目標とします。

1. 生体の構造のそれぞれ、もしくは関連する臓器の機能の知識を有する者
2. 病態機能を研究する上で必要な基本的知識や実験研究手技を有する者
3. 研究テーマを立案し、完成できるような能力を有する者
4. 独立した研究者として終生研究できる能力を有する者

## (5) 社会医学系専攻

社会医学系専攻では、次のような人材を育成することを教育目標とします。

1. ヒト社会のなかで誘発される疾病、障害、犯罪に対して社会医学的な視点から考察できる能力を有する者
2. 病気と環境的社会的要因の関係について分析する研究法を有する者
3. 個人と社会がさらに健康になるように働きかける方法論を有する者
4. 現代型犯罪に対処する各種の方法を習得し、その結果から総合的に判断する能力を有する者
5. 精神疾患の発生、予防、治療に関して生物学的視点のみならず、心理社会的な視点から考える総合的な能力を有する者

## (6) 先端医療科学系専攻

先端医療科学系専攻では、次のような人材を育成することを教育目標とします。

1. 免疫・生化・生理・腫瘍・発達・生殖・外科、各専攻分野における高度な専門的知識及び技術を有する者
2. 各専攻分野において、個体レベルから分子レベルまでの生化学的、分子生物学的、生理学的手技・手法を習得し、応用できる能力を有する者
3. 得られた結果をもとに論文作成ができ、自立して研究できる能力を有する者

# 目 次

## 《一般入学試験》

1	標準修業年限・入学定員・入学試験日程	1
2	出願資格	1
3	出願手続	2
	(1) 提出書類その他	2
	(2) 入学検定料の納入方法	2
	(3) 出願上の注意	3
4	願書受付時間・場所	3
5	試験場・試験会場	3
6	受験票	3
7	試験時間・科目	3
8	合格発表	4
9	入学手続	4
	(1) 入学に要する経費等	4
	(2) 入学辞退について	4
10	奨学金制度	4
11	教育方法の特例	5
12	博士課程概要	6

## 《外国人留学生入学試験》

1	標準修業年限・入学定員	7
2	出願資格	7
3	願書(第1次選考書類)受付期間	8
4	入学試験日	8
5	出願手続	8
	(1) 提出書類その他	8
	(2) 第1次選考(書類審査)と第2次選考検定料(入学検定料)	9
	(3) 出願上の注意	9
6	願書(第1次選考書類)受付	10
7	受験票及び受験許可書	10
8	試験場・試験会場	10
9	試験時間・科目	10
10	合格発表	10
11	入学手続	10
12	博士課程概要	10
13	外国人留学生 卒業/修了(見込)証明書、成績証明書、学位取得証明書について	11

(巻末)

- ◇ 個人情報の取扱いについて
- ◇ 福岡大学大学院長期履修制度について

## 《一般入学試験》

### 1 標準修業年限・入学定員・入学試験日程

研究科	専攻	入学定員	標準修業年限	願書受付期間	試験日	合格発表
医学研究科	人体生物系専攻	3名	4年	1月18日(木) ↓ 1月26日(金) (土・日を除く) *ただし、「2 出願資格」の③～⑨に該当する方は1月5日(金)まで	2月21日(水)	3月4日(月)
	生体制御系専攻	2名				
	病態構造系専攻	8名				
	病態機能系専攻	8名				
	社会医学系専攻	3名				
	先端医療科学系専攻	6名				

(注) ※春季(1回)のみ実施します。

※入学定員には、専攻で実施するすべての入学試験の人員を含みます。

(備考) ※本研究科博士課程で就学を希望する社会人に対して、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用した「夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法」による教育(5ページ参照)を実施しています。

なお、この場合の社会人とは、官公庁、教育機関、病院、企業等の現業に従事し、入学後もその身分を有する者をいいます。

### 2 出願資格

- (1) 大学(医学、歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程)を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程)を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程)を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程<sup>\*1</sup>を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- ⑤ 外国の大学その他の外国の学校<sup>\*2</sup>において、修業年限が5年以上である課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程)を修了すること<sup>\*3</sup>により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
- ⑥ 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた者で本研究科において、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑦ 大学(医学、歯学、薬学及び獣医学を履修する課程を除く。)を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- ⑧ 大学(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学し、又は外国において学校教育における16年の課程(医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)を修了した者

であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したものと認めるもの

⑨ 本研究科が、個別の入学資格審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者及び令和6年3月までに達するもの

- \* 1: その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は、医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程)を修了したとされるものに限る。
- \* 2: その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。
- \* 3: 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。

※出願資格で③～⑨に該当する方は資格審査を行うので、医学部事務課に問合せの上、**1月5日(金)までに願書を提出**してください。審査の結果は本人あてに通知します(審査結果後、検定料を納入してください)。

### 3 出願手続

#### (1) 提出書類その他

- ① 志願票(本学所定用紙)
- ② 副票・受験票(本学所定用紙)
- ③ 出身大学等の成績証明書
- ④ 写真(3ヵ月以内に撮影した上半身脱帽のもの。志願票に貼付)
- ⑤ 出身大学等の卒業証明書又は卒業見込証明書(卒業証書は不可。)
- (注5) 医師免許所持者のみ { ⑥ 医師免許証を有する者はその写し
- { ⑦ 臨床研修修了者は臨床研修修了登録証(厚生労働省)、臨床研修修了証明書または臨床研修修了証の写し
- { ⑧ 臨床研修修了見込者は臨床研修修了見込証明書
- (注5) 大学院修了者のみ { ⑨ 大学院研究科修士課程修了者は学位取得証明書及び成績証明書(出身大学長の発行するもの)
- { ⑩ 大学院研究科修士課程修了見込者は修了見込証明書及び成績証明書(出身大学長の発行するもの)
- ⑪ 入学検定料納入時に受取った「入学検定料領収書(大学提出)」
- ⑫ 住所シート又は宛先シート(宛先シートは、現在“本学”職員である者のみ選択可。)(本学所定用紙)
- ⑬ 大学院進学願(令和6年4月1日時点で“本学”職員である者のみ)(本学所定用紙)
- ⑭ 長期履修学生申請書類一式(※希望者のみ。詳細は、「福岡大学大学院長期履修制度について」を参照のこと。)
- ⑮ TOEIC等のスコア証明書(スコア証明書は、公開テスト公式認定書とします。ただし、福岡大学において実施されたTOEIC(IP)テスト等の結果は有効と認めます。)
- \* 参考資料としますので、受験した者のみ提出してください。原本は入学試験当日までに返却します。

(注5) 出願資格で③～⑨に該当する方のみ

- { ⑯ 研究計画書
- { ⑰ 志望理由書

注1:「写し」と記載されているもの以外は、必ず原本を提出してください。

注2: ③⑤⑧⑨⑩の証明書は3ヵ月以内に発行されたものを提出

注3: 出願資格(3)・(5)に該当する者で、上記書類のうち提出不可能なものがある場合には、事前に大学院事務課に相談してください。

注4: 出願資格によっては、上記以外の書類の提出をお願いすることがあります。

注5: 提出書類⑥～⑧は医師免許所持者のみ、⑨及び⑩は大学院修了者のみ、⑭は長期履修制度申請希望者のみ、⑮はTOEIC等受験者のみ、⑯及び⑰は出願資格で③～⑨に該当する方のみ提出してください。

#### (2) 入学検定料の納入方法

入学検定料 50,000円

入学検定料は、最寄の金融機関（郵便局・ゆうちょ銀行を除く）から本学所定の「振込用紙」に記載された指定金融機関宛に振り込んでください。

なお、振込みの際に受取った「入学検定料領収書（大学提出）」を、指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って、他の出願書類とともに提出してください。

（注）自動振込機（ATM）から振込みを行う場合は、氏名の前に「振込用紙」の「整理番号」を必ずご入力ください。振込みを証明できるもの（利用明細票の写し）を指定の入学検定料領収書貼付台紙に貼って提出してください。

（注）インターネットバンキングによる振込みは受付できません。

### (3) 出願上の注意

- ・該当する出願資格に記載された条件の内容を必ず確認してください。
- ・出願書類に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ・一度払い込まれた入学検定料及び提出した書類（論文含む）の返還請求には応じません。
- ・改姓がある場合は、戸籍抄本をつけてください。
- ・健康の状況について

疾病・障がい等により、受験時および修学上、特別な支援を必要とされる方は、出願前のできるだけ早い時期に大学院事務課並びに希望する専攻科の指導教員へ相談ください。（症状についての具体的内容が記載された診断書を添えてください。障害者手帳をお持ちの方は、そのコピーも添えてください。）

## 4 願書受付時間・場所

### (1) 受付時間

午前 10 時から午後 4 時まで

### (2) 受付場所及び問合せ先

福岡市城南区七隈七丁目 45 番 1 号（〒814-0180）

福岡大学医学部事務課（福岡大学医学部研究棟本館 1 階）

電話（092）801-1011 内線 3016

※郵送の場合は書留郵便とし、受付最終日までに必着とします。

封筒の表には、「医学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

## 5 試験場・試験会場

福岡市城南区七隈七丁目 45 番 1 号 福岡大学医学部

RI 講義棟 2 階第二中講堂

※受験者は、全員午前 9 時までに試験会場に集合してください。

※試験会場には、受験票を持参してください。

## 6 受 験 票

※出願手続完了者には、「受験票」を送付します。

※試験日の 5 日前までに到着しない場合は医学部事務課へ連絡してください。

※「受験票」は入学手続完了まで保管してください。

## 7 試験時間・科目

9:00～	9:15～11:15	11:30～12:30	14:00（予定）～
受験上の注意	外国語 （英語）	小論文 （日本語又は英語）	面接

※外国語の試験には、辞書（電子辞書も可）の使用を許可します。

ただし、電子辞書は、各種の辞書類（英和、和英、医学英和等）のみを搭載した物かつ通信機能が無い物に限ります。

※iPad 等のタブレットは、使用不可。

## 8 合格発表

(1) 合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には入学手続書類を郵送（簡易書留郵便）します。不合格者への通知はいたしません。

◆ 発表日時：令和6年3月4日（月）午前10時

◆ 発表（掲示）場所：大学院事務課前（福岡大学 中央図書館6階）

(2) 福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」（<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>）に合格者の受験番号を掲載いたします。

(3) 可否に関する電話での問合せには一切応じません。

## 9 入学手続

※ 入学手続書類等の詳細な指示は、合格通知と一緒に通知します。

※ 入学申込金・授業料その他諸納入金については、「(1) 入学に要する経費等」学費等納入金表を参照してください。

※ 出願書類及び入学手続書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取消すことがあります。

### (1) 入学に要する経費等

学費等納入金表

（単位：円）

区 分		本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	備 考	
入学時 納入金	入学申込金（入学金）	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入	
	第一期分 学費等納入金	第一期分授業料	280,000	280,000	280,000	毎年度納入
		第一期分教育充実費	70,000	70,000	70,000	
		委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
		（小計）	353,000	353,000	368,100	
計	473,000	353,000	488,100			
第二期 払込分	第二期分 学費等納入金	第二期分授業料	280,000	280,000	280,000	毎年度納入
		第二期分教育充実費	70,000	70,000	70,000	
	計	350,000	350,000	350,000		
初年度納入金 合計		823,000	703,000	838,100		

◆上記合計金額のうち、「入学申込金」及び「第一期分学費等納入金」として、下記の金額を所定の期日までに納入してください。（納入期限当日の収納日付印まで有効）

（単位：円）

費 目	本学学部 卒業	本学大学院 修了	他大学卒業・ 他大学院修了	納 入 期 限
入学申込金	120,000	0	120,000	令和6年3月13日（水）
第一期分学費等納入金	353,000	353,000	368,100	令和6年3月21日（木）

※納入期限後はいかなる理由があっても受け付けできません。

※所定の期限までにこれらの手続きを完了してください。

※二年次以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

### (2) 入学辞退について

① 合格発表後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出してください。

② 入学手続き終了後に入学を辞退する場合は『入学辞退届』を提出した方に限り、入学申込金（入学金）を除く第一期分学費等納入金を返還いたします。

## 10 奨学金制度

・日本学生支援機構奨学金と地方公共団体、民間団体が実施している奨学制度があり、広く活用しています。

これらの奨学金には、返還義務のある「貸与型奨学金」や返還義務のない「給付型奨学金」があり、条件もそれぞれ異なっていますので事前の確認を忘れないようにしてください。

- ・募集・案内等は、内容に応じて大学院事務課前・中央・各学部事務室の掲示板およびFUポータルで行います。担当窓口は、学生課の奨学金窓口です。

【貸与型奨学金例（返還義務のあるもの）】

種類		詳	細
日本学生支援機構の奨学金	第一種奨学金 ・無利子 ・返還免除制度あり	人物、学業ともに優れ、経済的理由によって修学困難な学生に対し、日本学生支援機構から貸与される制度です。貸与期間は標準修業年限内です。 なお、収入基準額は、学部学生は家計支持者の収入額ですが、大学院生は本人の収入額です。	《募集時期》 ・予約採用 11月中旬（予定） 対象者 推薦入試並びに秋季入試合格者 ・在学採用 4月上旬 対象者 全在学生
	第二種奨学金 ・有利子	【入学時特別増額貸与】 1年次において、第一種または、第二種奨学金の貸与を受け、希望者は所定の手続きにより交付初回のみ増額して貸与を申込みことができます。（10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択）	《採用人員（令和4年度実績）》《貸与額（月額）》 ・第一種奨学金 修士課程・博士課程前期 78名…（5万円・8万8千円） 博士課程後期 6名…（8万円・12万2千円） 博士課程 2名…（8万円・12万2千円） ・第二種奨学金 修士課程・博士課程前期 6名 博士課程後期 2名 博士課程 2名 【全課程共通】 （5万円・8万円・10万円・13万円・15万円）
	緊急奨学金 （第一種）/無利子 応急奨学金 （第二種）/有利子	家計の急変（主たる家計支持者が失職、破産、事故、病気若しくは死亡又は、火災、風水害等の災害等）で奨学金を緊急・応急に必要とする場合（但し、事由発生から1年以内。）に申込みことができます。	

上記の内容で不明な点等があれば、学生課奨学金窓口にご相談してください。

## 11 教育方法の特例

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。」旨規定されて、社会人等の就学に配慮がなされています。

本研究科博士課程では、大学院での履修を希望する社会人等に対し、同条に定める教育方法の特例による教育を実施しています。

教育方法の特例を受ける者は、指導教員と相談のうえ、授業及び研究指導を夜間や特定の時間又は時期に受けることができます。

12 博士課程概要

専攻分野	専攻科名	指導教員	研究テーマ
人体生物系	生体構造学	博(医) 立花 克郎	物理生体作用の機能形態学的及び分子形態学的研究
	分子細胞生物学	博(医) 白澤 専二	癌・免疫・代謝関連疾患の分子メカニズムの解明と新規治療法の開発
	細胞分子制御学	博(医) 藤田 孝之	循環不全や細胞死等のメカニズムの解明による、臨床重要な疾患に対する新規治療法の確立
生体制御系	生体防御学	博(医) 廣松 賢治	病原微生物の免疫エスケープ機構と宿主細胞代謝制御
	再生・移植医学	博(医) 小玉 正太	幹細胞を含めた細胞移植治療や異種移植治療の確立
	呼吸病態生理学	博(医) 藤田 昌樹	呼吸器疾患における慢性炎症の病態生理学的検討
	再生再建外科学	博(医) 高木 誠司	微小循環やバイオフィルムの観点から見た創傷治癒機構の解明
病態構造系	形態病理学	博(医) 二村 聡	消化器(消化管, 膵, 胆道系)と泌尿器疾患の臨床・病理学的解析
	腫瘍病理学	博(医) 濱崎 慎	ヒト腫瘍の臨床病理学的・分子遺伝学的解析
	高次中枢病態学	博(医) 安部 洋	脳脊髄領域の微小解剖の解明と新規治療法開発に向けた研究
	視覚病態学	博(医) 内尾 英一	眼アレルギー及び眼感染症の免疫学的・微生物学的研究
	腎・尿路病態学	博(医) 羽賀 宣博	泌尿生殖器疾患の病態発症メカニズムの解明と新規治療法開発に向けた研究
	消化器病態学	博(医) 植木 敏晴	消化器疾患の病態, 診断と内視鏡治療や薬物治療に関する臨床研究
	〃	博(医) 八尾 建史	消化器内視鏡を用いた臨床研究, またはそれに関する病理学的研究
	脳神経病態学	医博 坪井 義夫	神経変性疾患の病態解明に関する研究 臨床・病理・疫学からのアプローチ
	腎免疫・代謝病態学	博(医) 升谷 耕介	腎疾患の発症と進展における免疫学的機序に関する研究
	病態機能系	細胞分子薬理学	博(薬) 岩本 隆宏
神経耳科学		博(医) 坂田 俊文	耳疾患の病理・診断・治療に関する研究。耳鳴・聴覚過敏・耳閉感の研究
関節機能学		博(医) 山本 卓明	運動器疾患の生体力学, 骨・関節機能学, 生体材料学
運動器機能学		医博 柴田 陽三	運動器疾患の生理・病態機能学 運動器のスポーツ医学
循環機能学		博(医) 和田 秀一	大動脈手術時の臓器保護(脳, 脊髄神経, 腎等)
放射線応用医学Ⅰ		博(医) 吉満 研吾	腹部疾患のCT/MRI/Angiographyを用いた病態解析と治療法
放射線応用医学Ⅱ		博(医) 長町 茂樹	FDG-PET検査及びテクスチャ解析, フラクタル解析を用いた悪性腫瘍の生物学的動態, 予後予測の研究
脳卒中予防・地域医療学		博(医) 登志夫	脳血管障害の病態・診断や治療法に関する臨床研究および地域における効率的な治療支援システムの開発
麻酔学		博(医) 秋吉 浩三郎	周術期循環器合併症の病態解明と予後の改善
救命救急医学		博(医) 石倉 宏恭	侵襲病態下における炎症反応および血液凝固異常の制御に関する研究
口腔病態学	博(歯) 近藤 誠二	Ccn2遺伝子発現の転写調節の重要性について	
社会医学系	予防医学・公衆衛生学	博(医) 有馬 久富	循環器疾患の疫学および臨床研究
	犯罪医学	医博 久保 真一	死因究明のための法医病理学, 中毒学, 遺伝学的研究
	精神科治療学	博(医) 川崎 弘詔	「精神疾患の分子遺伝学的研究」「セカンドメッセンジャー系下流の脳内細胞情報伝達に関する研究」
	生命医療倫理学	博(医) 今泉 聡	医療と研究における徳
先端医療科学系	分子生化学	博(医) 安永 晋一郎	がん幹細胞の活性制御機構の解明とそれに基づく新規分子標的がん治療法の開発
	循環生理化学	博(医) 三浦 伸一郎	心不全及び高血圧治療法, 新規動脈硬化抑制療法の開発
	〃	医博 朔 啓二郎	虚血性心臓病・不整脈・動脈硬化の病態生理・動脈硬化性疾患治療法の開発
	分子生殖医学	博(医) 四元 房典	産婦人科疾患の病態解明と診断・治療法の確立
	臨床検査解析学	博(医) 小川 正浩	不整脈および循環器疾患の発生と進行における生理学的機序解明と治療的アプローチ
	〃	医博 松永 彰	動脈硬化, 心・腎疾患の遺伝子および病態生理化学的研究
	心疾患病態生理化学	博(医) 河村 彰	炎症性サイトカインの心疾患に対する病態生理学的影響の解明
	〃	医博 浦田 秀則	ヒトキマーゼの病態生理学的役割の解明
	皮膚炎症・感染症免疫遺伝学	博(医) 今福 信一	尋常性乾癬の臨床疫学～メタボリック症候群との合併を含めて～
	感染症病態生理学	博(医) 高田 徹	①病原微生物の臨床微生物学, ②薬剤耐性菌発現防止とマイクロバイオームの温存を見据えた適正感染症治療法の開発
	〃	博(医) 高松 泰	担癌患者の感染防御・免疫に関する研究
	病院感染制御科学	博(医) 高田 徹	病院における病原微生物の感染制御に関する研究
	内分泌・代謝病態生理学	博(医) 川浪 大治	糖尿病合併症発症・進展機構の解明
	〃	博(医) 小林 邦久	細胞内脂質代謝異常と糖尿病大血管症との連関, 生活習慣病の疾病管理
	消化器外科病態学	博(医) 長谷川 傑	消化器癌の病態解明・治療法の開発
	〃	博(医) 渡部 雅人	消化器外科疾患の病態と治療に関する臨床研究
	臓器再建・病態外科学	博(医) 佐藤 寿彦	1. 肺癌の病態生理 2. 人工臓器・肺移植の基礎的研究 3. 肺癌の新たな外科治療法
	〃	医博 岩崎 昭憲	1. 肺腫瘍の病態生理学 2. 肺移植の基本的研究 3. 医工学を用いた外科教育
	消化器内科病態学	博(医) 平井 郁仁	炎症性腸疾患の病態解明と診断・治療法の確立
	〃	医博 向坂 彰太郎	消化器疾患の病態, 診断, 治療に関する研究
	発達小児科学	博(医) 永光 信一郎	モバイルテクノロジーによる思春期ヘルスプロモーションに関する研究
	〃	医博 廣瀬 伸一	小児疾患の分子病態生理
	総合内科診断学	博(医) 鍋島 茂樹	感染症の分子生物学的診断
臨床腫瘍学*	博(医) 高松 泰	悪性腫瘍に対する個別化薬物療法の開発	
〃	博(医) 四元 房典	婦人科悪性腫瘍に対する集学的治療	
〃	博(医) 佐藤 寿彦	肺・縦隔・乳腺・甲状腺の外科治療	
〃	医博 岩崎 昭憲	呼吸器・縦隔悪性腫瘍および乳腺内分泌腫瘍の外科治療	
〃	医博 向坂 彰太郎	消化器癌の発症と伸展の抑止	
臨床研究科学	博(医) 三浦 伸一郎	臨床研究の実践方法, 生物統計法	
〃	医博 朔 啓二郎	臨床研究・研究倫理・バイオデザイナー養成・生物統計学・利益相反	
〃	医博 野田 慶太	研究倫理に関する研究, 健康食品の開発に関する研究, 治験の効率化に関する研究	
〃	博(医) 安元 佐和	てんかんと小児神経疾患の電気生理学, 医学教育	

\* がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)養成プランは本専攻科で実施される。

## 《外国人留学生入学試験》

### 外国人留学生進学説明会

詳細が決まりましたら、福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」  
(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)へ掲載します。

- ◇国内志願者とは、既に日本国に在留している志願者をいう。
- ◇国外志願者とは、受験のために外国から日本国に来る志願者をいう。

## 1 標準修業年限・入学定員

1頁の「1 標準修業年限・入学定員・入学試験日程」を参照してください。

## 2 出願資格

- (1) 大学(医学, 歯学又は修業年限が6年の薬学若しくは獣医学を履修する課程)を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は, 医学, 歯学, 薬学又は獣医学を履修する課程)を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は, 医学, 歯学, 薬学又は獣医学を履修する課程)を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (4) 我が国において, 外国の大学の課程\*<sup>1</sup>を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって, 文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校\*<sup>2</sup>において, 修業年限が5年以上である課程(最終の課程は, 医学, 歯学, 薬学又は獣医学を履修する課程)を修了すること\*<sup>3</sup>により, 学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和6年3月までに授与される見込みの者
- (6) 修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に2年以上在学し, 30単位以上を修得し, かつ, 必要な研究指導を受けた者で本研究科において, 大学の医学, 歯学, 薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 大学(医学, 歯学, 薬学及び獣医学を履修する課程を除く。)を卒業し, 又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後, 大学, 研究所等において2年以上研究に従事した者で, 本研究科において, 当該研究の成果等により, 大学の医学, 歯学, 薬学又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 大学(医学, 歯学, 薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)に4年以上在学し, 又は外国において学校教育における16年の課程(医学, 歯学, 薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)を修了した者であって, 本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したものと認めるもの
- (9) 本研究科が, 個別の入学資格審査を行い, 大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で, 24歳に達した者及び令和6年3月までに達するもの

\* 1: その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は, 医学, 歯学, 薬学又は獣医学を履修する課程)を修了したとされるものに限る。

\* 2: その教育研究活動等の総合的な状況について, 当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。

\* 3: 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。

※在学中の経費支弁能力のある者。

※日本語で講義・研究指導を受ける者は, 指定された日本語能力がある者。

注: ◆出願資格(9)

条件: 大学, 短期大学, 高等専門学校, 専修学校, 各種学校の卒業生その他の教育施設の修了者であること。

上記の出願資格(9)に該当し出願を希望する者は, 資格審査を行います。

審査の結果は、本人あてに通知します。

なお、審査の結果、受験資格があると認められた者は、入学検定料を指定された日時までに納入してください。入学検定料の納入については、9頁の「5 出願手続の(2)」を参照してください。

◇提出書類：提出書類は、8頁の「5 出願手続の(1)」に記載していますが、

志願票 外国人留学生用 (本学所定用紙) 裏面の履歴書について特に次の点に注意してください。

- ・職歴がある者は詳しく記入してください。
- ・業績(著書・研究論文・学会発表・特許)がある者は「資格・賞罰等」の欄に記入し、その現物の写しも提出してください。
- ・専門性に係る資格及び実務経験等がある者は記入してください(資格保有者は、その写しを添付)。

### 3 願書(第1次選考書類) 受付期間

国外志願者 随時受付(平日のみ)、最終締切日 令和5年10月31日(火)

国内志願者 令和5年12月4日(月)～令和5年12月6日(水)

### 4 入学試験日 令和6年2月21日(水)

### 5 出願手続

(1) 提出書類その他(※国外志願者は出願書類が異なりますので、大学院事務課までお問合せください。)

◇提出書類は、特に指定のない限り、すべて日本語で記入してください。

◇提出書類は、写しを許可されたもの以外、すべて本書を提出してください。(コピーは受け取れません。)写しを要するものは、受付時に大学院事務課で写しをとり、本書は返却いたします。

\*在日する親族から経費支弁を受ける場合、親族が準備する課税証明書類や住民票などは、マイナンバーの記載がないものを提出してください。

◇証明書は、全て発行日から3か月以内のものを提出してください。

◇母国語で作成された書類には、和文又は英文の翻訳文を添付してください。

◇本学が定める書類の他、必要と認められる書類については、別途提出を求める場合があります。

① 志願票 外国人留学生用、副票・受験票(本学所定用紙)

必ず本人が記入してください。

② 成績証明書

最終出身大学等の成績証明書

※ 詳細は、p.11で確認してください。

③ 卒業・修了に関する証明書

最終出身大学等の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書

※ 詳細は、p.11で確認してください。

④ 医師免許証を有する者はその写し、臨床研修修了者は研修修了証明書

⑤ 研究計画書(本学所定用紙)

※ 日本語で志願者本人の自筆によるもの。(ワープロ作成のものは不可)

⑥ 志望理由書(本学所定用紙)

※ 日本語で志願者本人の自筆によるもの。(ワープロ作成のものは不可)

⑦ 日本語能力を証する書類

次の①～③で該当するいずれか1つを提出してください。

① (財)日本国際教育支援協会又は国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1またはN2(2009年以前受験者は、1級または2級)の合格認定書

② 日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「日本語」の成績通知書

※ ただし、過去2年間において実施された試験のいずれかにおいて、聴解・聴読解・読解の合計が200点以上の成績を得ていること。

③ 上記①又は②の書類提出が不可能な場合は、「日本語能力認定書」(本学所定用紙)

※ 「日本語能力認定書」は日本語講師、日本政府の在外公館員、その他適当と思われる者に記入を依頼してください。

⑧ 経費支弁計画書(本学所定用紙)

- ⑨ 1年分の学費・生活費の支払能力があることを証明する書類  
 (「経費支弁計画書」の収入を立証する書類)  
 次の①・②(全員提出)と③～⑥で該当するものを提出してください。
- ① 志願者名義の預金残高証明書(日本円又はUSドルによるもの)  
 ② 当該預金の過去1年間の入出金の経緯が明らかになる預金通帳等の現物  
 ※ 提出不可能な場合は、その理由書を添付してください。(A4サイズ 書式は自由)  
 ※ 郵送の場合は、必要な部分の全てのページの写し  
 ③ 「資格外活動許可書」を取得している者はその写し  
 ④ 入学年4月以降に奨学金受給が決定している者は奨学金受給証明書  
 ⑤ 外国(本国の親族等)からの送金を受ける場合は、送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙)<sup>※注)</sup>  
 ⑥ 在日する親族等からの送金を受ける場合は、送金者本人が自筆により作成した経費支弁書(本学所定用紙)<sup>※注)</sup>  
 ※ 印鑑は実印を使用してください。  
 ※注) ⑤・⑥の「経費支弁書」が母国語で作成されている場合は、和文又は英文の翻訳文を添付してください。
- ⑩ 住民票(マイナンバーの記載がないもの)  
 ※ 市町村区役所が発行するもので、在留カードNo.(又は外国人登録番号)・在留資格・在留期限が明記されたもの
- ⑪ パスポート(大学院事務課で写しをとりますので、原本を持参願います。)  
 ※ 郵送の場合は、氏名・国籍・パスポート番号・顔写真が記載されているページの写し
- ⑫ 日本国内の大学で研究歴のある方は、その証明書
- ⑬ 住所シート(本学所定用紙)
- ⑭ TOEIC等のスコア証明書の写し(スコア証明書は、公開テスト公式認定書とします。ただし、福岡大学において実施されたTOEIC(IP)テスト等の結果は有効と認めます。)  
 ※参考資料としますので、受験した者のみ提出してください。入学試験当日原本を持参してください。
- ⑮ 提出書類チェックリスト(本学所定用紙)  
 注1:「写し」と記載されているもの以外は、必ず原本を提出してください。  
 注2:出願資格(3)・(5)に該当する者で、上記書類のうち提出不可能なものがある場合には、事前に大学院事務課に相談してください。  
 注3:出願資格によっては、上記以外の書類の提出をお願いすることがあります。  
 注4:提出書類④は医師免許所持者のみ、⑭はTOEIC等受験者のみ提出してください。

(2) 第1次選考(書類審査)と第2次選考検定料(入学検定料)

- ① 提出された書類について第1次選考を行い、その結果を通知します。  
 ② 第1次選考の結果、受験資格があると認められた方は、所定の日時までに第2次選考検定料を納入してください。納入方法に関する詳細は、第1次選考書類の提出時に指示します。

第2次選考検定料(入学検定料)	50,000円
-----------------	---------

(3) 出願上の注意

- ◆該当する出願資格に記載された条件の内容を必ず確認してください。  
 ◆出願書類の提出は、受付時に確認事項があるので、特別な理由がない限り窓口を持参してください。(国外志願者以外)  
 ◆国外志願者の出願手続きは、日本国内在住の知人を通じて出願書類を郵送しても構いません。
- ① 受験科目、合格連絡先等は記入漏れのないよう特に注意してください。  
 ② 出願書類に不備のあるものは受理しないことがあります。  
 ③ 出願手続等に関する照会は、原則として志願者本人が行ってください。  
 ④ 一度払い込まれた第2次選考検定料(入学検定料)及び提出した書類(論文含む)の返還請求には応じません。  
 ⑤ 健康の状況について  
 疾病・障がい等により、受験時および修学上、特別な支援を必要とされる方は、出願前のできるだけ早い時期に大学院事務課並びに希望する専攻科の指導教員へ相談ください。症状についての具体的内容が記載された診断書や障害者手帳のコピーを追加で提出してください。

## 6 願書(第1次選考書類)受付

### (1) 送付先

福岡市城南区七隈八丁目19番1号(〒814-0180)  
福岡大学大学院事務課(福岡大学 中央図書館6階)  
☎(092)871-6631 内線2913~2916

※郵送の場合は書留郵便とし、受付最終日までに必着とします。  
封筒の表には、「医学研究科出願書類在中」と朱書きしてください。

### (2) 学生募集に関する問合せ先

福岡大学 医学部事務課  
(福岡市城南区七隈七丁目45番1号 福岡大学医学部研究棟本館1階)  
☎(092)801-1011 内線3016

## 7 受験票及び受験許可書

※出願手続完了者には、「受験票」を送付します。

※試験日の5日前までに到着しない場合は大学院事務課へ連絡してください。

※「受験票」は入学手続完了まで保管してください。

※受験許可書<sup>注</sup>(国外志願者のみ)は、別途通知します。

(注) 受験許可書は、国外志願者が来日受験するために、志願者本人が本国において行う出入国手続(受験を目的とする短期滞在ビザの取得)に便宜をはかるため発行するものです。

## 8 試験場・試験会場

福岡市城南区七隈七丁目45番1号 福岡大学医学部  
RI 講義棟2階第二中講堂

※受験者は、全員午前9時までに試験会場に集合してください。

※試験会場には受験票を持参してください。

## 9 試験時間・科目

9:00~	9:15~11:15	11:30~12:30	14:00(予定)~
受験上の注意	外国語 (英語)	小論文 (日本語又は英語)	面接

※外国語の試験には、辞書(電子辞書も可)の使用を許可します。

ただし、電子辞書は、各種の辞書類(英和、和英、医学英和等)のみを搭載した物かつ通信機能が無い物に限ります。

※iPad等のタブレットは使用不可。

## 10 合格発表

(1) 合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には入学手続書類を郵送(簡易書留)します。不合格者への通知はありません。

◆ 発表日時: 令和6年3月4日(月) 午前10時

◆ 発表(掲示)場所: 大学院事務課前(福岡大学 中央図書館6階)

(2) 福岡大学公式ホームページ内の「大学院個別サイト」(<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載いたします。

(3) 可否に関する電話での問合せには一切応じません。

## 11 入学手続

※ 入学手続の詳細は、4頁の「9 入学手続」を参照してください。

## 12 博士課程概要

6頁の「12 博士課程概要」を参照してください。

### 13 外国人留学生 卒業/修了（見込）証明書、成績証明書、学位取得証明書について

- ・全ての証明書は、日本語又は英語で作成された原本であること。日本語・英語以外の言語で作成されたものは、日本語または英語の翻訳文を原本のコピーに添付して提出すること。
- ・卒業・修了に関する証明書に学位に係る記載がない場合は、学位の取得又は取得見込みを立証する書類の原本を提出すること。
- ・提出された証明書の原本は返却しません。  
※原本を提出できない場合は、Certified true copy（証書の原本から正しく複製されたものであることを証明した公証書）を提出すること。

#### 〈中国の教育機関出身の志願者へ〉

中国の教育機関出身者は、下記の認証機関において認証した「中国語版電子報告書」（学位・学歴・成績）を提出してください。

##### 【学位取得証明書】

###### 学位（学士号）の「認証報告」（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

###### 中国高等教育学歴認証報告（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

##### 【成績証明書】

###### 中国高等学校学生成績検証報告（中国語版電子報告書）

『中国高等教育学生信息网（CHSI）』（<https://www.chsi.com.cn>）が認証したもの

認証機関以外からの認証結果は一切受け取りません。志願者本人または代理人が受信した電子認証報告メールの転送は無効となります。願書受付期間の最終日（必着）までに、福岡大学大学院事務課のメールアドレス（[gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp](mailto:gakuin@adm.fukuoka-u.ac.jp)）に認証結果が直接送付されるように手続きを行ってください。

# 個人情報の取扱いについて

本学では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、「学校法人福岡大学個人情報保護規程」を定め個人情報の保護に努めています。「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づく、「個人番号」および「特定個人情報」に関しても同様です。本学学生の個人情報に関する基本的な姿勢と取扱いについてご説明いたします。

## 1. 法令の遵守と学内規程の整備

本学は、「個人情報の保護に関する法律」その他法令の規定を遵守すると共に、個人情報の取得、保管、利用など取扱いに関する必要な事項を定め、個人情報の適切な保護に努めます。

## 2. 個人情報の取得

本学は、本学の学生から個人情報を取得する際には、あらかじめ利用目的を特定し、その利用目的の達成に必要な範囲内において、公正な手段により取得します。また、思想、信条及び宗教に関する個人情報は取得しません。

〈主な利用目的〉

- 学生募集、入学試験に関する業務
- 履修・成績管理に関する業務
- 入学、卒業、退学、休学等の学籍管理に関する業務
- 課外活動、健康管理に関する業務
- 奨学金に関する業務
- 授業料その他納付金等の収納・督促に関する業務
- 就職・進路支援に関する業務
- 教育改善のための教学情報の活用に関する業務
- 個人番号関係業務
- 一般社団法人福岡大学同窓会有信会の運営に関する業務
- 福岡大学父母後援会の運営に関する業務
- その他学生生活、修学指導に関する業務

※詳しくは、大学ホームページに掲載している「学校法人福岡大学個人情報保護規程別表」等をご覧ください。

## 3. 個人情報の利用

本学が保有する個人情報は、法令に基づく場合を除き、本人の同意を得ないで、定められた利用目的以外の利用や、第三者への提供は行いません。

## 4. 個人情報の管理

本学は、個人情報の管理体制を整備し、個人データについては利用目的の達成に必要な範囲内において正確かつ最新の内容に保ち、漏えい、滅失又は毀損の防止など安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。

なお、個人情報の取扱いを外部に委託する場合は、委託先が個人情報の安全管理のために適切な措置を講じるよう監督し、その内容を委託契約に明記します。

## 5. 個人情報の開示等

本学は、本人からの当該保有個人データの開示、訂正（追加、削除含む）、利用停止の請求を受け付けます。

## 6. 個人情報に関する問合せ先

本学の個人情報に関する苦情やご質問は、個人情報の内容によって受付窓口が異なります。大学公式ホームページの個人情報関連のページをご覧ください。下記あてにお問い合わせください。

【問合せ先】 福岡大学 総務課

## 福岡大学大学院 長期履修制度について

長期履修制度とは、職業を有している等の事情により、本来の標準修業年限（修士課程・博士課程前期＝2年、博士課程後期＝3年、博士課程＝4年）では履修が困難と認められる者について、長期履修学生として標準修業年限を超えて履修を可能とする制度です。

長期履修学生として申請するにあたっては、長期履修期間中の履修や研究方法等について、あらかじめ当該研究科・専攻（在学学生は指導教員）に相談してください。

### 1. 対象者

長期履修学生として申請することができる者は、次のいずれかに該当する者とします。なお、外国人留学生（在留資格「留学」を有する者）は申請できません。

(1) 新たに本学大学院に入学（進学を含む）する者のうち、次のいずれかに該当するため、標準修業年限での履修が困難な者

- ①職業を有し、就業している者
- ②家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- ③その他、研究科長が相当の事情があると認めた者

(2) 本研究科に在学する者のうち、次のいずれかに該当するため、標準修業年限での履修が困難な者

（在学中に、新たに標準修業年限での履修が困難となる事由が生じた場合。なお、標準修業年限における修了予定年次（最終学年）に在学している者は申請できません。）

- ①職業を有し、就業している者
- ②家事、介護、育児、出産等の諸事情を有する者
- ③その他、研究科長が相当の事情があると認めた者

### 2. 長期履修期間

長期履修学生の履修期間および在学中に長期履修を開始することができる学年は次の通りです。

課程	標準修業年限	長期履修期間	最長在学年限	在学学生長期履修開始可能学年
修士課程・博士課程前期	入学時から2年	入学時から3年または4年	4年	2年
博士課程後期	入学時から3年	入学時から4年または5年または6年	6年	2年、3年
博士課程	入学時から4年	入学時から5年または6年	8年	2年、3年、4年

※長期履修期間は入学時を開始基準とします。

※長期履修期間は1年間単位とします。

※長期履修学生の最長在学年限は、標準修業年限での履修生と同じです。

※休学期間は履修期間に含めません。

※長期履修学生の早期修了（標準修業年限より短い期間での修了）はできません。

### 3. 申請手続

#### (1) 申請期間

##### ① 入学時から長期履修学生となることを希望する場合

……………入学試験出願時

##### ② 在学生在新たに長期履修学生となることを希望する場合

……………開始を希望する前年度の1月末まで

(標準修業年限における最終学年在学者は申請できません。)

#### (2) 申請書類

##### ① 長期履修学生申請書及び理由書(様式1)

##### ② 研究計画書(博士課程後期および博士課程のみ)(様式2)

##### ③ その他、当該研究科が必要と認める書類

※申請理由に応じて、長期履修を必要とすることを証明する書類等を提出していただく場合があります。

※申請書類は、大学院個別サイト (<https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/>) 内の「入学試験」メニュー⇒「長期履修制度」ページからダウンロードしてください。

### 4. 学費等納入金

#### (1) 入学時から長期履修学生となる場合

- ・基本的に標準修業年限の授業料等の総額を、長期履修期間の修業年数で按分した額が年額となります。
- ・2年目以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

#### (2) 在学生在新たに長期履修学生となる場合

- ・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した標準の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。
- ・2年目以降の学費等納入金のうち、「委託徴収金」の金額には多少の変動が生じることがあります。

### 5. 結果の通知

#### (1) 入学時から長期履修学生となることを希望する場合

- ・長期履修を希望する事由や研究計画等に基づき審査の上、入学試験合格発表時に合格通知とともに送付します。

#### (2) 在学生在新たに長期履修学生となることを希望する場合

- ・長期履修を希望する事由や研究計画等に基づき審査の上、3月末までに通知します。

### 6. 長期履修期間の変更(延長・短縮・取消)

長期履修学生として許可された者が、長期履修の期間の延長、短縮あるいは取消を必要とする事由が生じた場合は、指導教員の承認を得た上で、長期履修期間の変更を1回に限り願い出ることができます。

(1) 変更の願出期間

・変更を希望する前年度の1月末まで

(2) 変更願出書類

①長期履修学生変更願書及び理由書

- ・延長(様式3)
- ・短縮(様式4)
- ・取消(様式5)

②その他、当該研究科が必要と認める書類

※申請理由に応じて、長期履修を必要とすることを証明する書類等を提出していただく場合があります。

(3) 変更可能な長期履修期間と学年

変更	課程	長期履修期間 (変更前→変更後)	変更手続き可能学年
延長	修士課程・博士課程前期	入学時から3年→4年	1年又は2年
	博士課程後期	入学時から4年→5年	1年, 2年又は3年
		入学時から4年→6年	1年, 2年又は3年
		入学時から5年→6年	1年, 2年, 3年又は4年
	博士課程	入学時から5年→6年	1年, 2年, 3年又は4年
短縮	修士課程・博士課程前期	入学時から4年→3年	1年又は2年
	博士課程後期	入学時から5年→4年	1年, 2年又は3年
		入学時から6年→5年	1年, 2年, 3年又は4年
		入学時から6年→4年	1年, 2年又は3年
	博士課程	入学時から6年→5年	1年, 2年, 3年又は4年
取消	修士課程・博士課程前期	入学時から3年→2年(標準)	1年
		入学時から4年→2年(標準)	
	博士課程後期	入学時から4年→3年(標準)	1年又は2年
		入学時から5年→3年(標準)	
		入学時から6年→3年(標準)	
	博士課程	入学時から5年→4年(標準)	1年, 2年又は3年
入学時から6年→4年(標準)			

※延長は、変更前の長期履修期間における最終学年在学者は願い出ることができません。

※短縮は、短縮後に1年以上の修業期間がない場合は願い出ることができません。

※取消は、標準修業年限における最終学年(修士課程・博士課程前期=2年, 博士課程後期=3年, 博士課程=4年)在学者は申請できません。

※変更は1回に限り願い出ることができません。

※取消を行った場合、あらためて長期履修学生に申請することはできません。

#### (4) 授業料等納入金

※授業料等納入金（以下、「授業料等」）とは、「授業料」及び「教育充実費」を指します。

※在学中、毎年度納入が必要な学生健康保険互助組合費等の「委託徴収金」は授業料等には含まれません。

##### ①延長

- ・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した変更（延長）前の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。

##### ②短縮

- ・基本的に標準修業年限の授業料等の総額から既に納入した変更（短縮）前の授業料等の総額を減じた額を、長期履修期間の残りの修業年数で按分した額が年額となります。

##### ③取消

- ・基本的に取消後は標準修業年限の授業料等年額になります。
- ・ただし、そこまでに納付すべき標準修業年限の授業料等の総額から既に納付した授業料等の総額を控除した額を、取消後の最初の年度に授業料に上乗せして徴収します。

#### (5) 結果の通知

- ・変更を必要とする事由や研究計画等に基づき審査の上、3月末までに通知します。

### 7. 長期履修制度利用にあたっての注意

- ・独立行政法人日本学生支援機構の奨学金貸与において、長期履修に応じた貸与は入学時に申請した場合にのみ適用されます。在学中の申請あるいは長期履修期間の変更等を行う場合は対象外となることがあります。

## ■福岡大学までの交通機関



### 地下鉄のご案内

<b>福岡空港駅から</b> [空港線]
博多駅まで ..... 5分
天神駅まで ..... 11分
<b>博多駅から</b> [七隈線]
福大前駅まで ..... 20分
▶空港線博多駅から七隈線博多駅乗り換え所要時間3分
<b>天神南駅から</b> [七隈線]
福大前駅まで ..... 16分
▶空港線天神駅から七隈線天神南駅乗り換え 所要時間7分~8分 (550m)
<b>薬院駅から</b> [七隈線]
福大前駅まで ..... 13分

※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。

※バスの行き先番号が同じでも行き先が異なることがありますので、バス正面の行先（経由地）をご確認ください。

- ・地下鉄に関する情報……福岡市交通局 <https://subway.city.fukuoka.lg.jp/>
- ・バスに関する情報……西鉄バス <https://www.nishitetsu.jp/bus/>



### バスのご案内

博多から ..... 35分~45分
▶行先番号 ⑫⑬⑭番もしくは エコルライナー(快速)[平日のみ]をご利用ください。
天神から ..... 25分~30分
▶行先番号 ⑫⑬⑭番もしくは エコルライナー(快速)[平日のみ]をご利用ください。



### 車・タクシーのご案内

博多から ..... 45分
天神から ..... 30分
福岡空港から ..... 30~45分
西新から ..... 約15分

### 高速道路をご利用の場合

#### [唐津方面からの場合]

西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

#### [北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合]

九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。

## 福岡大学大学院

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号

電話 (092) 871-6631  
大学院事務課 内線 2913~2916